

## 高等部 課題別学習（国語）Bグループ 学習指導案

日 時：平成29年7月1日（土）10時00分～10時50分

場 所：多目的ホール2

指導者：阿部圭但（T1）、坂根瞳（T2）

### 1 題材名

相手に分かるように説明しよう ～道案内～

### 2 目 標

- (1) スタート地点から目的地までの道順を相手に分かりやすい言葉や文量で整理してワークシートに記入し、相手に発表する。 【知識・理解】 【技能】 【思考・判断・表現】
- (2) 友達の説明を正しく聞き取り、目的地までの道順をたどる。 【技能】 【思考・判断・理解】

### 3 生徒と題材

#### (1) 生徒について

本学習グループは高等部1年生から3年生までの8名で構成されており、進路については一般就労と福祉サービスの利用を目指す生徒がいる。漢字検定6～8級程度の漢字の読み書きの力や、整数の基本的な四則計算の力が身に付いている。

これまでの学習や現場実習先での様子から、指示内容の分かりやすい活動や繰り返しの作業に対しては、意欲的に取り組み、正しく活動や作業をすることができる。一方、自分で考えたり判断したりする活動に対しては苦手意識があり、自分の話す内容に自信をもてないまま発言する様子が見られる。また、教師や実習先の方の話の要点を聞き逃したり、話の内容を正しく理解しないまま返答したりすることが多い。そのため、聞き手が話のつながりや内容に違和感を覚えてしまうこともある。

「私の応援計画」作成に当たっての面談や年度初めに実施した保護者アンケートから、「話や質問の内容を正しく理解する」「自分の気持ちや考えを整理して伝える」「自信をもって発表する」などの類似した教育的ニーズが見えてきた。

#### (2) 題材について

本学習グループではこれまで「伝える力」「聞き取る力」の育成を目指し、身近な物の特徴や物の位置・並べ方を説明する学習、整理整頓の手順を説明する学習を行ってきた。その結果、相手の話を正確に聞き取るうという態度が身に付き、自分の考えをまとめて相手に分かりやすく伝えようという気持ちの高まりが見られるようになってきた。

本題材では、相手の気持ちや目線を考えて道案内する学習を取り上げる。スタート地点から目的地までの道順や、地図上の特徴を正確に読み取り、順を追って話したり、相手の立場から考えた適切な言葉を用いて説明したりする力を身に付けさせたい。また、人前で発表したり、友達から認められたりする経験を重ねることは、生徒の自信につながると考える。さらに、説明のとおり活動を進めることや説明の手順を理解することは卒業後の生活でも必要なことである。成功を重ねることで生徒自身が成長を実感したり、これまでに以上に自分から他者と関わろうとする気持ちにつながったりすると考え、本題材を設定した。

#### (3) 授業づくりの工夫

物理的 環境 の 整備	教材・教具	<ul style="list-style-type: none"><li>・一人で学習を進めたり、グループの友達と話し合いながら学習を進めたりできるように、ワークシートを準備する。</li><li>・意欲的に学習に臨めるように、身近な地域や興味のある地域、建物、生徒自身が作成した物などを地図上に取り入れる。</li><li>・前時まで学習した「道案内に便利な言葉」を見える位置に掲示したり、手元で使用するヒントカードを準備したりする。</li></ul>
	学習活動	<ul style="list-style-type: none"><li>・道案内の手順や地図上の特徴を正しく知り、友達に対して具体的な言葉で説明できるように、段階的な課題を設定する。</li><li>・「道案内に便利な言葉」を全員で共有し、次時以降に自ら使えるようにワークシートにまとめる活動を設ける。</li></ul>

人的環境の整備	教師	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分かりやすい説明の手本となるように、話す速さや声の大きさを意識して簡潔に話したり、話すポイントを視覚的に示したりする。</li> <li>・道案内の手順を知ることや説明原稿の作成に時間が掛かった場合は、教師間で役割分担しながらアドバイスする。</li> </ul>
	友達	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ内での自分の役割が明確になるように、グループ活動における一人一人の係を明確にする。</li> <li>・グループでの話し合いがスムーズに行われ、決められた時間内に説明原稿を作成できるようなグループ編成を行う。</li> <li>・互いの頑張りを認め合うことができるように、生徒同士で説明係と実演係を担当したり、互いのよい説明について発表し合う場面を設定したりする。</li> </ul>

#### 4 指導計画（総時数19時間）・・・本時18/19

学習内容	時数	主なねらい
相手に分かるように説明しよう① ～物の特徴や位置を表す言葉～	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明する対象物を観察して特徴を把握し、その特徴を3つに絞って説明する。 【読む能力】 【話す能力】</li> <li>・上下左右などの位置関係を正確に理解して説明する。 【話す能力】 【書く能力】</li> </ul>
相手に分かるように説明しよう② ～整理整頓の手順～	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整理整頓の手順を知り、相手に正しく伝わる言葉で原稿を作成して説明する。 【話す能力】 【書く能力】</li> <li>・友達の説明を聞いて必要な道具を揃え、指示どおりに整理整頓をする。 【聞く能力】</li> </ul>
相手に分かるように説明しよう③ ～道案内～ <相手の目線からの左右> <□から何軒目、□に向かって右隣> <十字路、交差点、突き当たり> <様々な条件を満たすルート> など	19 本時 18/19	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道案内の手順をワークシートに整理して記入し、相手や他のグループの友達に分かりやすく説明する。 【話す能力】 【読む能力】 【書く能力】</li> <li>・地図上の特徴を正確に読み取り、相手の立場から考えた言葉を用いながら、順を追って説明する。 【話す能力】 【読む能力】</li> <li>・友達の説明を正しく聞き取り、様々な条件を満たしながら目的地までの道順をたどる。 【聞く能力】</li> </ul>
相手に分かるように説明しよう④ ～突然の出来事、相手の気持ち～	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目の前で起こった事柄の順番や特徴などを説明する。 【話す能力】 【読む能力】</li> <li>・写真やイラストから相手の表情や気持ちを読み取り、その状況について簡潔に説明する。 【話す能力】</li> </ul>

#### 5 題材の評価規準と評価基準

本題材の評価規準			
【聞く能力】	【話す能力】	【読む能力】	【書く能力】
・話し手の意図や気持ちを考えながら、話の内容を適切に聞き取る。	・自分の立場や意図をはっきりさせながら、相手や目的、場に応じて適切に話す。	・目的や意図などに応じて文章の概要や要点などを適切に読み取る。	・相手や目的に応じていろいろな文章を適切に書く。
本学習グループの評価基準			
・友達の発表に注目し、道案内の発表（道順や地図上の特徴など）を適切に聞き取る。	・自分の考えをまとめてグループの友達に話したり、原稿を用いて様々な人に発表したりする。	・地図上の位置や相手の目線からの左右、道路や建物の特徴などを適切に読み取る。	・相手の気持ちや立場を考えて、適切な言葉や表現、文の量で道案内原稿を書く。

※本題材の評価規準は、特別支援学校学習指導要領高等部の各教科「国語」から

&lt;表の見方&gt;

学年  
性別○ 国語の実態  
● 国語の実態

本題材の目標

B  
1年  
男

○自信はないが、自分の考えを短い言葉でまとめ、発表できる。  
●自分にとっての左右と、相手から見た左右を間違えることがある。

- ・相手の目線からの左右が分かり、原稿を書く。
- ・「交差点」や「右側の□軒目」など、地図上の特徴や配置を表す言葉を理解する。

C  
1年  
男

○「突き当たり」や「□に向かって右隣」などの言葉の意味と使い方が分かる。  
●自分の考えを整理して具体的な言葉で表現することに時間が掛かる。

- ・様々な条件を満たすルートや、相手にとって分かりやすいルートを考え、道案内する。
- ・自分の考えを整理して、友達に伝える。

F  
3年  
男

○「道案内に便利な言葉」を活用しながら道案内の原稿を書ける。  
●自分の意思が強く、友達の意見に納得するまで時間が掛かる。

- ・相手の立場に立ち、一文の長さや文の全体量を考えながら道案内原稿を書く。
- ・友達の状況を見て、話し合いを円滑に進める。

A  
1年  
女

○物事を慎重に考え、言葉を一つ一つ選びながら、説明原稿を書ける。  
●自分の考えを発表する際、自信のなさから時間が掛かってしまう。

- ・「道案内に便利な言葉」を使って原稿を書く。
- ・自分やグループの考えに自信をもち、友達の前で大きな声で発表する。

D  
1年  
女

○「□番目の交差点」など一度学習した言葉を、次の学習で使用できる。  
●既習内容の繰り返しは得意だが、自分で新しく考えることは苦手である。

- ・自分の考えをグループの友達に伝え、条件を満たす最適な道案内ルートを作り上げる。
- ・自分の言葉で表現し、友達に伝える。

E  
2年  
男

○友達の説明を落ち着いて聞き、正しく目的地にたどり着ける。  
●「突き当たり」などの意味や相手の目線からの左右を間違えることがある。

- ・言葉の意味を正しく捉え、相手の立場を考えながら道案内する。
- ・友達の道案内から、キーワードを聞き取る。

H  
3年  
男

○要点を落とさないように聞き取ったり、自分の考えを話したりできる。  
●伝える要点の整理が難しく、原稿の一文や説明が長くなる傾向にある。

- ・要点をまとめ、相手にとって分かりやすい道案内の原稿を書く。
- ・話し合いで自分から友達に言葉を掛ける。

G  
3年  
女

○じっくり思考し、相手にとって分かりやすい道案内の原稿を書ける。  
●意見をもっているが、考えをまとめて表出することに時間が掛かる。

- ・自分の考えを時間内に整理し、相手に分かりやすい言葉を選びながら原稿を書く。
- ・友達に聞こえる声で、自分の考えを話す。

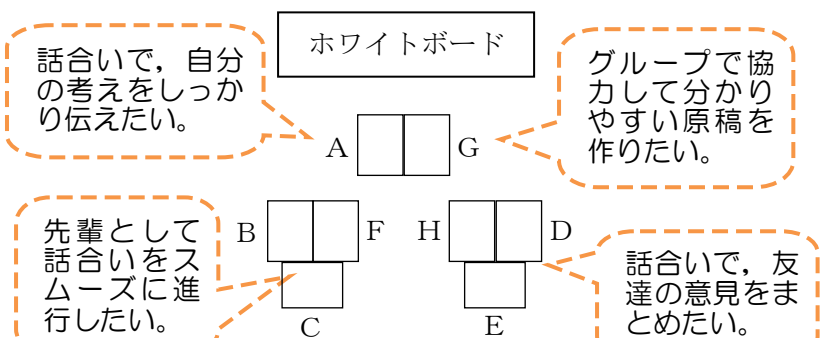
**7 本時の計画 (総時数19時間中の18時)**

(1) 本時の主眼

- ・これまで学習した「道案内に便利な言葉」を使って原稿を書き、友達と話し合っより相手に分かりやすい原稿を完成させる。
- ・相手のことを考えた声の大きさや話す速さで、秋田市内の観光地までの道案内を発表する。

(2) 学習過程

時間	学習活動	教師の働き掛け・留意点
7	1 学習の流れとめあてを知る。	<p>○学習の流れとめあてを知り、学習への意欲を高める。</p> <p>→学習の目的や将来どのような機会でも活用できるのかを、具体的な場面を例にして伝える。</p> <p>→道案内のまとめの学習であることと、完成した説明原稿を授業参観者へ配付することを伝える。</p> <p>○前時の学習を振り返り、「道案内に便利な言葉」を思い出す。</p> <p>→前時までに学習した「道案内に便利な言葉」をキーワードとして見える位置に掲示し、いくつかを選択して出題する。</p> <div style="text-align: center;"> <p>ホワイトボード</p> </div>
10	<p>2 条件を知り、道案内原稿を書く。(個人)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>&lt;今回の条件&gt; 秋田市内の観光地までの道案内をする</p> </div>	<p>○条件を知り、道案内の手順を考え、道案内原稿を書く。</p> <p>→目的地までのルートや説明の手掛かりが分かるような課題を準備する。</p> <div style="text-align: center;"> <p>ホワイトボード</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; width: 45%;"> <p><b>B :</b> ○相手の目線からの左右を正しく捉えたり、交差点などの数を正確に数えたりしながら、道案内原稿を作成する。</p> <p>→相手の目線からの左右が記入されているカードを用意する。</p> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; width: 45%;"> <p><b>E :</b> ○「突き当たり」や「右側の□軒目」などの言葉を正しく使い、条件に合った道案内原稿を作成する。</p> <p>→言葉の意味を正確に捉えられるように、図の入ったキーワードを掲示する。</p> </div> </div>

時間	学習活動	教師の働き掛け・留意点
20	<p>3 友達と話し合い、より相手に分かりやすい原稿を作成する。 (グループ)</p>	<p>○自分の意見を友達に伝えたり話し合ったりして、より相手の気持ちや目線を意識した原稿を作成する。 →原稿に曖昧な言葉がある場合は、掲示しているキーワードや前時までのプリント、ヒントカードを見るように伝える。</p> <div style="border: 1px dashed orange; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>話し合いで、自分の考えをしっかりと伝えたい。</p> </div> <div style="border: 1px dashed orange; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>グループで協力して分かりやすい原稿を作りたい。</p> </div> <div style="border: 1px dashed orange; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>先輩として話し合いをスムーズに進行したい。</p> </div> <div style="border: 1px dashed orange; padding: 5px;"> <p>話し合いで、友達の見解をまとめたい。</p> </div>  <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>C: ○自分の原稿や考えを整理し、簡潔で具体的な言葉を選択して友達に伝える。 →伝える要点の箇所を質問したり、要点の言葉を抜き出したりする。</p> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>D: ○自分の考えをグループの友達に分かりやすい言葉で伝える。 →活発に意見を伝えることができるように、グループの話し合いのルールを伝える。</p> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>F: ○相手に分かりやすい言葉の表現や文の量で原稿を作る。 →相手の立場からの説明を意識できるように、その説明で相手がかかるとかどうかが質問する。</p> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>H: ○友達の見解を聞き、グループとしての原稿を作る。 →友達の見解を引き出す手本を示したり、話し合いのポイントとなる言葉を伝えたりする。</p> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>A: ○自分の原稿を相手に聞こえる声の大きさと伝えたり、質問に対してスムーズに回答したりする。 →話し合いのルールと注意点を事前に伝える。</p> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>G: ○自分の意見や質問に対する考えを時間内にまとめ、友達と一緒に原稿を作る。 →まとめるのに時間が掛かっている場合は、要点を整理して伝える。</p> </div>
13	<p>4 秋田市内の観光地までの道案内を発表する。</p>	<p>○説明原稿を参考にしながら、秋田市内の観光地までの道案内を発表する。 →地図上をたどる相手のスピードに合わせて読むことができるように、ルールを示す。 ○学習に達成感を味わい、今後の生活場面への期待感を高める。 →道案内した相手からの感想を聞く場面を設ける。 →自分や友達のがんばりを認められるように、一言感想記入や自己評価チェックの機会を設定する。 →「道案内に便利な言葉」をまとめたり、友達の良い考えや発表を紹介して認め合ったりする場面を設ける。</p>

※本時の評価は ○期待する生徒の姿（評価の視点） で評価する。